

第47回 みちのく緑蔭禅のつどい



曹青 通信

いわて

岩手県曹洞宗青年会主催の伝統行事であります「みちのく緑蔭禅のつどい」は、今年で四十七回目を迎え、盛岡市報恩寺様をお借りして、七月二十一日～二十二日の一泊二日で開催されました。

昨年は、東日本大震災の影響で中止となり、二年ぶりの開催ということで、参禅者の方々の減少を危惧しておりましたが、県内各地より二十三名の参禅者の方にご参加いただきました。沿岸から多数参加され、中には被災にあい盛岡へ避難されている方々もいらつしやいました。私自身も震災後初めてお会いする

御挨拶

岩手県曹洞宗青年会
会長 清水 昌俊

発行者
岩手県曹洞宗青年会
清水 昌俊
発行所
岩曹青事務局
〒028-2105
岩手県宮古市和井内
13-8-5 宝鏡院 内
TEL: 0193-73-2333
FAX: 0193-73-2334

題字/宗務所長
海野義清老師
編集/事業部
印刷/盛岡市 橋本印刷

知り合いの方々とは再会を喜び合いました。

今年の夏は例年にならない猛暑でありましたが、幸いにも緑蔭禅開催中は過ぎ易い気候で、参禅者の方々は集中して行事に取り組まれておりました。

初日は、オリエンテーション、記念撮影、開講式、坐禅指導の後、陸前高田市普門寺住職 熊谷光洋老師を講師にお迎えし、「修證義と葬祭儀礼について」と題して、ご法話をいただきました。分かり易く、和やかに修證義の教えを説かれ、参禅者の皆様も感心されておりました。そして、晡時坐禅、晚課、薬石、夜坐、開浴と続き、午後九時開沈となりました。

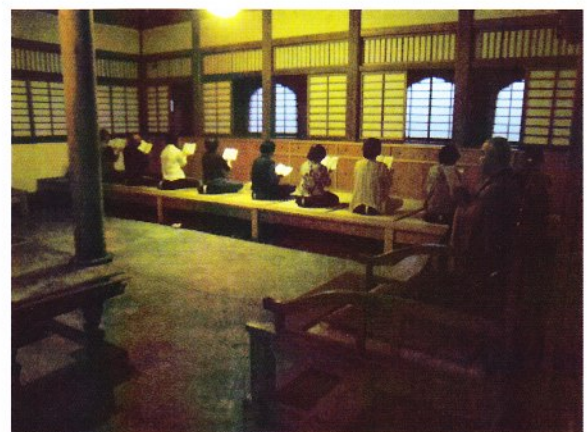
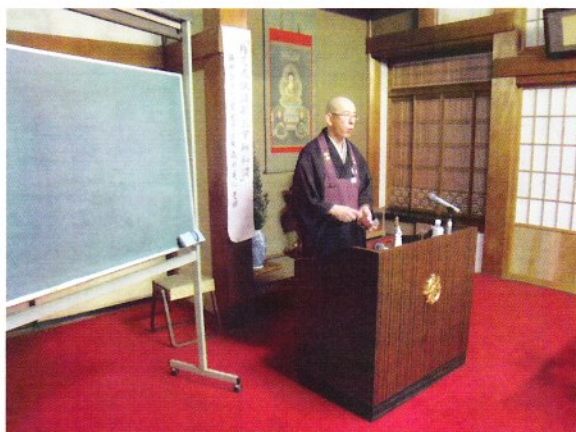
二日目は、午前四時半振鈴で始まり、暁天、朝課、小食、作務の後、紫波町常光寺住職 森田英仁老師を講師にお迎えし、「梅花流詠讃歌三宝御和讃」と題して三宝御和讃の歌詞解説、並びに詠唱をご指導していただきました。最初は、恥ずかし

さもあり、あまり声も出しておりませんでしたが、最後には堂々とお唱えされ、三宝御和讃をマスターしておりました。そして、写経、座談会と続き、午前十一時よりの閉講式では、参禅者の皆様も覚えたての三宝御和讃をお唱えしていただき、厳かに執り行われまして全日程を終了いたしました。

来年に向けましては、従来からの懸案であります参禅者の減少や、今回の反省点を踏まえまして、より充実した「みちのく緑蔭禅のつどい」にしたいと思っております。

最後になりましたが、快く会場をご提供していただきました報恩寺住職 天藤全孝老師をはじめ、御山内の皆様、また講師をお勤めいただきました普門寺住職 熊谷光洋老師、常光寺住職 森田英仁老師、そして土日の檀務御多端の中、御随喜いただきました会員諸兄に感謝申しあげ、御礼の挨拶とさせていただきます。

平成24年 緑蔭禅のつどい 写真集



みちのく緑蔭禅のつどいに参加して



宮古市 東館 利吉

去る七月二十一日・二十二日に、盛岡市 報恩寺で開催された「第四十七回みちのく緑蔭禅のつどい」に参加する機会を頂いた。初めての体験であったが、宗教上の修行というよりは、教義・教上を超えて、私達が日常生活で心すべき、思いやり・感謝といったものを、すべての行動において、意を持つことであるように思えた。食事の作法ひ

とつとつても、忘れかけていたものが甦った思いで、研修全日程がとても意義深く感じた二日間であった。そもそも私が坐禅を意識したのは、数年前サラリーマンを退職し、これまでもとは違って、時間的にも精神的にも余裕ができた一方で、ストレスの無いストレスに少しばかり悩んでいた時に、坐禅をやってみたという単純なものであった。幸い

にも菩提寺の護持会総代会に参画させて戴いており、この場で提案したところ、早速住職さんがとり上げて下さり、月一回、第一日曜日の定例坐禅会が寺で開催されることになり、早三年を経過中である。参加者はあまり多くはないのであるが、寺の本堂で厳粛な雰囲気の中で、住職から作法の指導を受け、慣れない姿勢に緊張し、時間が経つのがとても長く感じられたが、回を重ねるごとに緊張のゆるみから眠くもなくなり、この時の警策も心地良く感じるようになっていく。

しかし心の中は決して日常の雑踏から離れることとはなく、坐禅を終えて家に帰ったら何をしようか、はた又、夕食のおかずには何をしようかと、とても坐禅の主旨とは縁遠いものとなっているが、私にはこの時間がとても新鮮で、次回の坐禅会を楽しみにしている。言うまでもなく坐禅を通じて「真実に目覚める」との教えも頭の隅にはあるのだが、とてもその境地には達していない。自分はこの教えに近づくことは無理に思える。

話は変わるが、私は農家の長男に生まれ、先祖代々の仏を守る立場にある。このためであろうか、私の宗教感には先祖崇拝の意識が強く、今日自分があることに對する先祖への感謝の念である。昨今では、先祖離れ・墓地離れの風潮が散見されているように思う。あるお寺さんの墓地では、長い間墓参がされていないのであろうか？一定の猶予期間をおいて申し出がない場合は、無縁仏として処理する旨の、墓地管理者の表示がなされているのを見たことがある。立派な墓石に眠る仏が参拝されることもない状況は本当に残念に思われてならない。

TEL.0120-88-3992

0120-88-3992

盆に向けてお墓の掃除を済ませた。決して信心深いとは言えないのであるが、私なりに坐禅を通じて菩提寺の護持と先祖供養を厚きものに近づけたらと思う。

この度の「緑蔭禅のつどい」では、主催者の方々の細かい心遣いのもとに清々しい思いで研修を重ねることができた。私の坐禅感もいくらか深まったように思う。関係者の御配慮に感謝したい。本当にありがとうございました。

平成二十四年八月七日

第一回教養セミナー

なぜ傾聴が必要なのか？

～傾聴を基本とした支援活動～



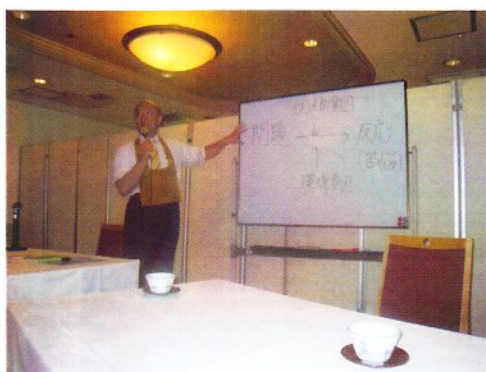
九月十一日(火) 午後二時より、盛岡市 盛岡グランドホテルアネックスにおいて、神奈川県相模原市 梅宗寺副住職、曹洞宗総合研究センター 委託研究員であられる、館盛 寛行先生をお

迎えし、「なぜ傾聴が必要なのか？～傾聴を基本とした支援活動～」と題して、ご講演を頂戴致しました。講演の中で先生は、ご自身がお通夜などで説法を続けてきた中で、自

分の思いを完全に相手(檀家さん)に伝えたりもりでも、その方と後日、自分が話した事についての話題になると、全然伝わっていないかったというもどかしい経験から、相互理解の重要性を痛感し、カウンセリングに興味を持ち始めたという、先生の原点についてのお話からご講義が始まりました。

そして、主体となる相手が、どう考えているかを理解することがカウンセリングの基本であり、そのためには、相手の話を聞かないと、そもそも問題が何なのかかわからないという事を、強く述べられておりました。

講師紹介



館盛 寛行

(たてもり かんぎょう)

略歴

- ・ 1972年神奈川県生まれ
- ・ 駒澤大学大学院博士後期課程仏教学専攻単位取得満期退学
- ・ 大本山永平寺安居
- ・ 元大本山總持寺講師補(カウンセリング担当)
- ・ 第十八期全国曹洞宗青

- ・ 年会基幹事業委員会副委員長
- ・ 梅宗寺副住職
- ・ 曹洞宗総合研究センター 委託研究員
- ・ 教誨師
- ・ 日本カウンセリング学会会員
- ・ 観世ふおん相談員
- ・ 神奈川県第二宗務所布教師

著作・連載

- 『禅カウンセリング・テキスト』(大本山總持寺僧堂興隆会 2005年)
- 『仏教とカウンセリング 教主釈尊に学ぶ心の安らぎ(全34回)』(大本山總持寺『跳龍』 2004年2月～2007年2月)
- 『人びとのこころに向き合うために』(曹洞宗総合研究センター 2010年)
- 『自死に向き合う』(いま、私にできること)』(曹洞宗総合研究センター 2011年)

10月31日親睦会・教区懇親会

一関総合体育館Uドームにおいてフットサル大会、
その後、蔵ホテル一関において懇親会が行われました。



第7教区青年会様のご厚意により、楽しい親睦会となりました。
まことにありがとうございました。

旅行のことならなんでもご相談下さい
お電話いただければ係員がおうかがいします



アビエックス アビエックス

株式会社 岩手ビーエス観光
岩手県知事登録第2-86号 JATA協会員
岩手県旅行業協会会員

〒020-0016 盛岡市名須川町31-5
TEL (019) 635-0303
FAX (019) 635-0019

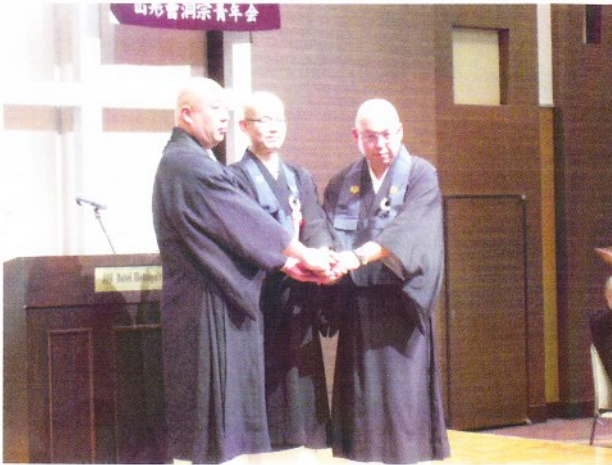
みちのく曹洞宗の古刹

奥の正法寺

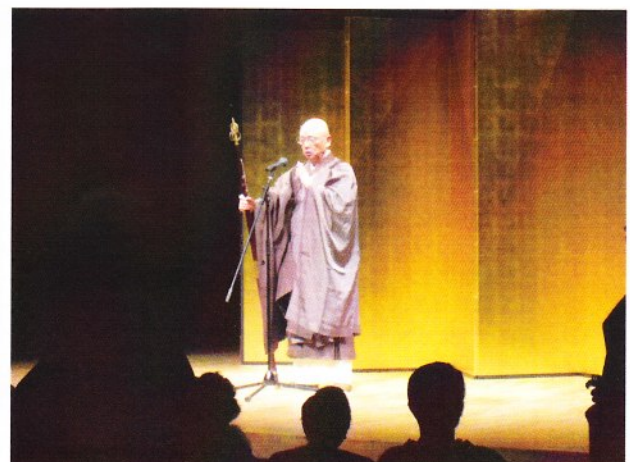
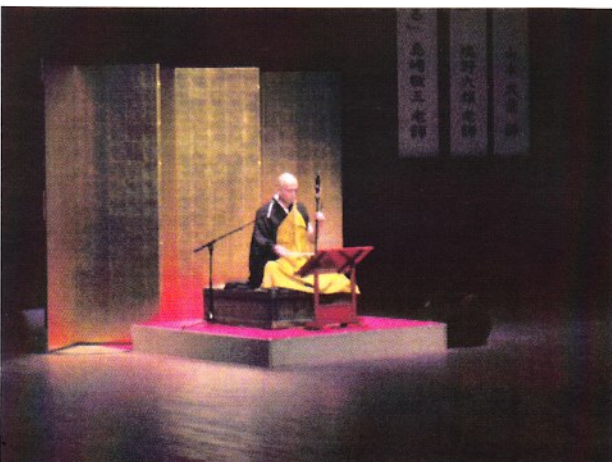
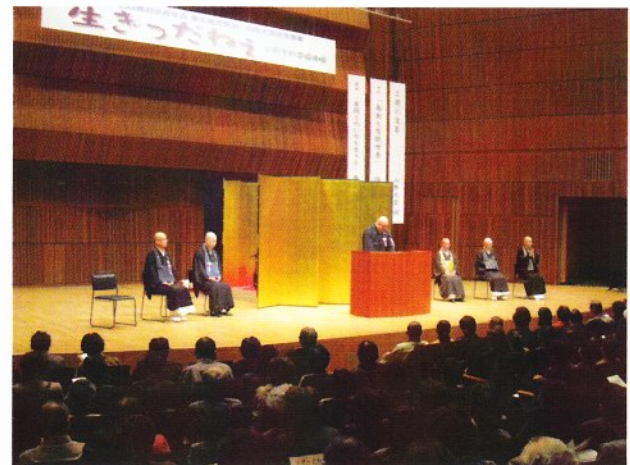
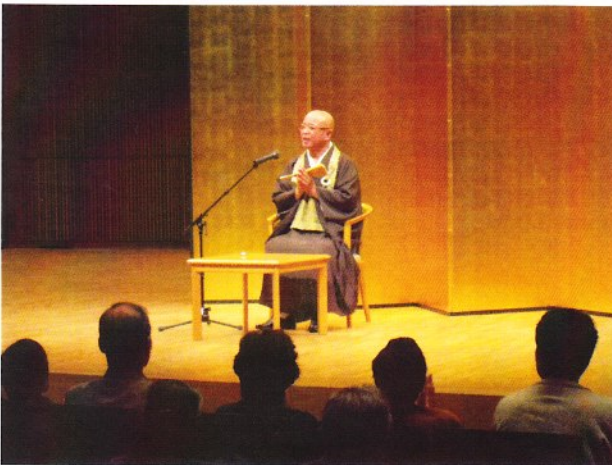
〒023-0101 岩手県奥州市水沢区黒石町字正法寺129
TEL : 0197-26-4041 / FAX : 0197-26-4107

第37回 曹洞宗青年会 東北地方集会 「山形大会」

記念式典の部



記念事業の部



山田町 海岸供養 10月11日

10月11日、山田町 海蔵寺様と山田町の海岸において、岩曹青会員宗師を中心に、東日本大震災でお亡くなりになられた方々のご供養法要がとりおこなわれました。



紙面広告募集のご案内

「曹青通信いわて」では、平成25年度発行予定の(92号・93号・94号)に掲載する広告を若干募集いたします。要項につきましては下記をご参照下さい。

掲載回数：平成25年度92号・93号・94号の計3回

掲載様式：名刺サイズ広告(各社にてご用意下さい)

掲載金額：全3回で3万円

募集制限：岩手県全県に渡り岩曹青とゆかりのある活動を行っている企業様。
安居者募集や観光促進を目的とした御寺院様。

募集期限：平成25年3月31日まで

掲載をご希望される企業様・御寺院様は岩曹青事務局までご連絡下さい。

岩手県曹洞宗青年会事務局

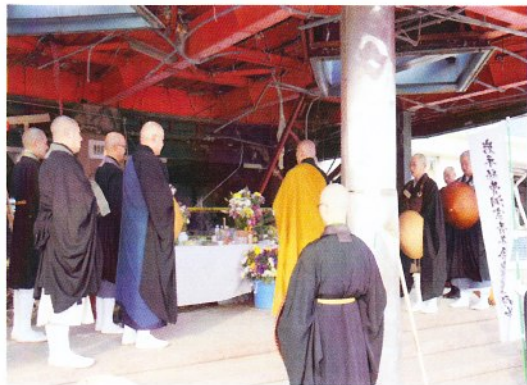
岩手県宮古市和井内13-8-5 宝鏡院 内

慶徳 雄仁

電話 0193-73-2333

FAX 0193-73-2334

東日本大震災被災地慰霊行脚



十一月十九日（月）、陸前高田市 龍泉寺様より出発し、陸前高田市内を中心に、会員宗師による慰霊行脚が行われました。

陸中海岸国立公園
陸中海岸の霊場

釜石大観音

釜石市大平町釜石大観音 ☎0193-24-2125
釜石市大只越町石応禅寺 ☎0193-22-4080

